

危機管理（救急・災害）医学講座

Crisis (Emergency and Disaster) Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授(併)	有嶋 拓郎	Takuro Arishima
講師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助教	工廣紀斗司	Kitoji Takuhiro
診療助手(併)	濱田 浄司	Joji Hamada
医員(併)	小浦 友行	Tomoyuki Koura

◆ 著書

- 1) 日本臨床救急医学会 JTAS 検討委員会（編）：「緊急度判定支援システム JTAS2012 ガイドブック」日本救急医学会・日本救急看護学会・日本小児救急医学会・日本臨床救急医学会監修，1-76，へるす出版，東京，2012.
- 2) 若杉雅浩，奥寺 敬：救急システム シミュレーション医学と教育。「救急・集中治療医学レビュー2012」島崎修次・前川剛志監修，20-23，総合医学社，東京，2012.
- 3) 奥寺 敬：けいれん。「救急救命士標準テキスト 第3巻 専門分野 救急症候・病態生理学 改訂第8版」救急救命士標準テキスト編集委員会編，130-136，へるす出版，東京，2012.
- 4) 奥寺 敬：東日本大震災編 健康メモを非常袋に。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，138-139，北日本新聞社，富山，2012.
- 5) 有嶋拓郎：めまい・ふらつき編 急激な回転性は要注意。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，20-21，北日本新聞社，富山，2012.
- 6) 有嶋拓郎：発熱編 清盛も苦しんだ発熱。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，44-45，北日本新聞社，富山，2012.
- 7) 有嶋拓郎：大人の救急対応。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，156-163，北日本新聞社，富山，2012.

◆ 原著

- 1) Shigemori M., Abe T., Aruga T., Ogawa T., Okudera H., Ono J., Onuma T., Katayama Y., Kawai N., Kawamata T., Kohmura E., Sakaki T., Sakamoto T., Sasaki T., Sato A., SHiogai T., Shima K., Sugiura K., Takasato Y., Tokutomi T., Tomita H., Toyoda I., Nagao S., Nakamura H., Park Y., Matsumae M., Miki T., Miyake Y., Murai H., Murakami S., Yamaura A., Yamaki T., Yamada K., and Yosimine T. : Guidelines for the management of severe head injury, 2nd edition. Guidelines from the guidelines committee on the management of severe head injury, the Japan Society of Neurotraumatology. *Neurol. Med. Chiru. (Tokyo)*, 52: 1-30, 2012.
- 2) Okudera H., Wakasugi M., Hashimoto M., Sakamoto M., Arishima T., Sakamoto T., and Aruga T. : Concept of Neuroresuscitation and Immediate Stroke Life Support. *Neuroepidemiology*, 39: 276, 2012.
- 3) 太田晴美，奥寺 敬：エマルゴトレーニングとは。救急看護&トリアージ，2: 31-35, 2012.
- 4) 永山正雄，奥寺 敬：災害時における神経系クリティカルケアの概要。日本神経救急学会誌，24: 8-11, 2012.
- 5) 若杉雅浩，奥寺 敬：救急トリアージ JTAS からみた中毒患者トリアージ。中毒研究，25: 231-237, 2012.
- 6) 坂元美重*，奥寺 敬：脳卒中 Q6A - プレホスピタルからリハビリまで一初療室での対応-ISLS コース。救急・集中治療，24: 852-857, 2012.
- 7) 橋本真由美*，奥寺 敬：脳神経外科救急最前線 救急外来 救急車搬送。Brain，2: 608-614, 2012.
- 8) 奥寺 敬，橋本真由美：指標・基準の使い方とエビデンス 総合評価 CTAS/JTAS。救急医学，36: 1358-1360, 2012.
- 9) 村田美代子，若杉雅浩，奥寺 敬：富山県における新生児蘇生対応。地域救急災害医療研究，10: 27-33, 2011.
- 10) 安心院康彦，奥寺 敬，坂本哲也：クリニカルマップによるシミュレーショントレーニングシナリオの定量的評価。臨床シミュレーション研究，2: 11-17, 2011.
- 11) 中村丈洋，本多 満，安心院康彦，黒田泰弘，奥寺 敬：シミュレーション研修としての脳神経外科救急基礎 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) の開発。臨床シミュレーション研究，2: 18-23, 2011.
- 12) 安心院康彦，奥寺 敬，坂本哲也：カラーブロックを用いた「救命の連鎖」シナリオの立体表現。臨床シミュレー

ション研究, 2: 31-39, 2011.

- 13) 安心院康彦, 奥寺 敬, 橋本真由美, 坂元美重, 中村丈洋, 若杉雅浩, ベンジャミン・バーグ : Asia-Pacific Meeting on Simulation in Healthcare(APMSH)2011の参加報告. 臨床シミュレーション研究, 2: 44-48, 2011.
- 14) 三宅康史, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 鶴田良介, 横田裕行, 中村俊介, 坪倉正治, 日本救急医学会の熱中症に関する委員会 : 本邦における熱中症の現状 Heatstroke STUDY2010 最終論文. 日本救急医学会雑誌, 23: 211-230, 2012.

◆ 症例報告

- 1) 乗杉 理, 松井恒太郎, 浅野幸恵, 古市 恵, 原 寛, 松下 功, 旭 雄士, 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 豊本貴嗣, 清水忠道 : トシリズマブ(アクテムラ)投与中患者に発症した劇症型A群連鎖球菌感染症. 皮膚病診療, 34: 343-346, 2012.

◆ 総 説

- 1) 本間正人, 川嶋隆久, 山崎達枝, 千田 良, 奥寺 敬 : 東日本大震災とその後. 医療機器学, 82: 2-24, 2012.
- 2) 有嶋拓郎 : 運動や作業中の熱中症対策. 医報とやま, 1560: 5-8, 2012.
- 3) 有嶋拓郎 : 津波. Modern Physician, 32: 658-660, 2012.
- 4) 今村知代, 奥寺 敬 : 医学領域の臨床シミュレーション研究の世界的潮流. 地域救急災害医療研究, 10: 35-37, 2011.

◆ 学会報告

- 1) Berg B., Okudera H., Ajimi Y., Ikeda H., Nakamura T., Wakasugi M., and Hashimoto M. : Immediate Stroke Life Support (ISLS) - A mixed modality international simulation curriculum. (Workshop), 12th International Meeting on Simulation in Healthcare (IMSH2012), 2012, 1, 28, San Diego.
- 2) Ajimi Y., Sakamoto T., Nakamura T., Berg B., and Okudera H. : A New Method for Quantitative Evaluation of Medical Knowledge Structures in Emergency Room by a Clinical Map. 12th International Meeting on Simulation in Healthcare (IMSH2012), 2012, 1, 31, San Diego.
- 3) Ajimi Y., Okudera H., Berg B., and Sakamoto T. : A New Training Method using Color Blocks for Building Emergency Medical Situations: A 3-dimensional Mental Construct Material for Education. 12th International Meeting on Simulation in Healthcare (IMSH2012), 2012, 1, 31, San Diego.
- 4) Berg B., Okudera H., and Phrampus P. : Translation and Beyond - International Curriculum Sharing. (Panel Discussion), 12th International Meeting on Simulation in Healthcare(IMSH2012), 2012, 2, 1, San Diego.
- 5) Okudera H. : Key Note Lecture ISLS(Immediate Stroke Life Support) and PNLs(Primary Neurosurgical Life Support). 5th South Asian Neurosurgical Congress, 2012, 3, 13, Nepal.
- 6) Ajimi Y., Takahashi T., Sakamoto T., Berg BW., and Okudera H. : Scenario Maker as an interface between a scenario and an operator of a human simulator. SSESAM 2012, 2012, 6, 14-16, Norway.
- 7) Okudera H., Sakamoto T., Suzuki A., Wakasugi M., Hashimoto M., Japan ISLS committee : Refinement of Immediate Stroke Life Support Course based on Concept of Neuroresuscitation in JRC Guidelines 2010. 14th International Conference on Emergency Medicine, 2012, 6, 26-27, Ireland.
- 8) Okudera H., and Wakasugi M. : Key Note Lecture on WFNS training course-ISLS(Immediate Stroke Life Support) and PNLs(Primary Neurosurgical Life Support). World Federation of Neurosurgical Societies Training Course, 2012, 7, 12-14, Ethiopia.
- 9) Okudera H. : ISLS(Immediate Stroke Life Support) and PNLs(Primary Neurosurgical Life Support). 9th Asian Congress of Neurological Surgeons, 2012, 9, 4, Turkey.
- 10) Wakasugi M., and Okudera H. : How to develop the triage system in ED? JTAS project. Pan-Pacific Emergency Medicine Conference 2012, 2012, 10, 23-26, Seoul.
- 11) Okudera H. : How to make triage system in the HEMS? JTAS project. 1st Korean Society of Helicopter Emergency Medical Services, 2012, 11, 30, Seoul.
- 12) 岩瀬正顕, 島 克司, 奥寺 敬, 加藤庸子, 平山晃康, 松前光紀, 脳神経外科救急学会 PNLs 委員会 : 国際脳神経外科救急蘇生基礎コースの展開. 第17回日本脳神経外科救急学会, 2012, 1, 27-28, 東京.

- 13) 本多 満, 横田京介, 一林 亮, 吉原克則, 井水秀栄, 奥寺 敬, 島 克司, 日本脳神経外科救急学会 PNL5 委員会 : 脳神経外科医におけるシミュレーション教育の現況と問題点. 第 17 回日本脳神経外科救急学会, 2012, 1, 27-28, 東京.
- 14) 岡澤成祐, 山内勇人, 篠田晃一郎, 林 龍二, 有嶋拓郎, 和田暁法, 戸邊一之 : 避難所での感染性胃腸炎蔓延防止のための取り組み フェーズ制導入による対策の標準化の試み. 第 27 回日本環境感染学会総会, 2012, 2, 3-4, 福岡.
- 15) 奥寺 敬 : 脳卒中对応神経蘇生トレーニング ISLS の在宅への展開. 第 20 回高度先進リハビリテーション医学研究会, 2012, 2, 18, 東京.
- 16) 奥寺 敬 : 神経蘇生研修としての ISLS の国際展開. 第 4 回豊明 ISLS 研究会, 2012, 2, 18, 豊明.
- 17) 奥寺 敬 : 社会で共有するトリアージの開発工程—CTAS/JTAS プロジェクトの現況. 日本臨床救急医学会緊急ワークショップ, 2012, 2, 25, 東京.
- 18) 渋谷伸子, 奥寺 敬, 有嶋拓郎, 釈永清志, 山崎光章, 峠 正義 : 気管チューブ屈曲により気管吸引が不能となった 2 例. 第 39 回日本集中治療医学会学術集会, 2012, 2, 28-29, 千葉.
- 19) 奥寺 敬, 若杉雅浩 : 救急外来トリアージ研修法としての CTAS. 第 4 回日本医療教授システム学会, 2012, 3, 2, 東京.
- 20) 奥寺 敬 : 救急災害医療への IT 技術の導入—3. 11 後の救急災害医療の開発動向. 文部科学省イノベーションシステム整備事業, 2012, 3, 24, 富山.
- 21) 奥寺 敬 : 災害時の急性期対応について—東日本大震災以降の動向. 第 68 回日本消化器内視鏡技師学会, 2012, 5, 12, 東京.
- 22) 高橋絹代*, 若杉雅浩, 奥寺 敬 : 移植コーディネーターの活動と臓器提供の関連. 第 25 回日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会, 2012, 5, 17, 宮崎.
- 23) 奥寺 敬 : 院内トリアージから社会全体で共有するトリアージへ. 第 23 回北海道救急医学会救急隊員部会, 2012, 5, 26, 北見.
- 24) 奥寺 敬 : JTAS プロジェクトの現状—JTAS から JPAS への開発工程. 第 2 回 Triage & Early Warning System 研究会, 2012, 6, 2, 東京.
- 25) 奥寺 敬 : 医療から見た熱中症. 環境省熱中症対策に係る自治体等担当者向け講習会, 2012, 6, 4, 金沢.
- 26) 奥寺 敬 : ACEC 開発最前線. 第 26 回日本神経救急学会, 2012, 6, 9, 高松.
- 27) 本多 満, 横田京介, 一林 亮, 伊藤 博, 坪田貴也, 吉原克則, 杉山邦男, 長尾建樹, 安心院康彦, 奥寺 敬 : 神経蘇生と集中治療 神経蘇生における脳波検査の導入においての問題点. 第 26 回日本神経救急学会, 2012, 6, 9, 高松.
- 28) 奥寺 敬 : ISLS の国際化と JRC 神経蘇生ガイドライン 2010. 第 2 回 ISLS シンポジウム, 2012, 6, 10, 高松.
- 29) 奥寺 敬 : トリアージ訓練教育用電子システムの開発—世界的ニーズ動向と開発内容・今後の市場性. 第 1 回福島県医療福祉機器研究会, 2012, 6, 12, 福島.
- 30) 奥寺 敬 : Rapid response system : 日本の現状から国際標準に向かって—他のチーム医療との連携・診療報酬化の可能性. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 31) 奥寺 敬, 太田祥一, 嶋津岳士, 三宅康文, 中島 勸, 石井美恵子, 菅原美樹, 木澤晃代, 長谷川学, 荒井伸幸 : JTAS 開発最前線 CTAS から JTAS への工程・全ての救急医療機関への展開と課題. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 32) 奥寺 敬 : 神経蘇生基礎コースとしての ISLS の国際展開. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 33) 高橋絹代*, 若杉雅浩, 奥寺 敬 : 臓器提供施設の負担軽減に移植コーディネーターが貢献できること. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 34) 安心院康彦, 坂本哲也, 奥寺 敬 : 神経蘇生ガイドラインが脳卒中病院前救護と ER 初期診療トレーニングに与えたインパクト. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 35) 佐藤圭路, 常原一雄, 光永英紀, 小林美代子, 有嶋拓郎, 横山宏道, 鴨田吉浩, 大川元久 : 意識障害病院前救護 (PCEC) コースデザインの工夫 当圏域での試み. 第 15 回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 36) 奥寺 敬 : 神経救急領域の MC と研修法開発の動向. 第 15 回信州神経救急研究会, 2012, 6, 23, 松本.
- 37) 安心院康彦, 竹内保男, 坂本哲也, 奥寺 敬 : 神経蘇生ガイドラインに基づいた急性期意識障害初期診療 (ACEC) のシミュレーション教育. 第 21 回日本意識障害学会, 2012, 7, 6-7, 富士吉田.
- 38) 奥寺 敬 : 脳神経外科救急基礎研修について. 第 15 回日本病院脳神経外科学会, 2012, 7, 15, 函館.

- 39) 高橋絹代*, 若杉雅浩, 奥寺 敬 : 献腎を増やすために, 今やるべきことは? 献腎とコーディネーター活動の関係. 第48回日本移植学会総会, 2012, 9, 20-22, 名古屋.
- 40) 奥寺 敬 : 救急シミュレーション教育の現在と未来 シミュレーション教育の国際事情と将来. 第40回日本救急医学会総会・学術集会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 41) 三宅康史, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 坪倉正治, 鶴田良介, 中村俊介, 横田裕行 : 日本救急医学会の熱中症に関する活動. 第40回日本救急医学会総会・学術集会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 42) 本多 満, 一林 亮, 伊藤 博, 坪田貴也, 吉原克則, 杉山邦男, 長尾建樹, 安心院康彦, 奥寺 敬 : 神経蘇生における脳波検査の導入における問題点. 第40回日本救急医学会総会・学術集会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 43) 有嶋拓郎, 東岡宏明, 田中 圭, 松井直樹, 畑田 剛, 大森教成 : 大災害発生時の傷病者受け入れ訓練はどうあるべきか. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 44) 佐藤圭路, 大田泰正, 有嶋拓郎 : 地区医師会主催中小病院向け災害医療講習会の現状と課題. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 45) 有嶋拓郎, 東岡宏明, 田中 圭, 松井直樹, 畑田 剛, 大森教成, 松永 靖 : 災害拠点病院における比較的簡単で繰り返してできる多数傷病者受け入れ訓練. 第7回医療の質・安全学会, 2012, 11, 23-24, 大宮.

◆ その他

- 1) 奥寺 敬 : 二次救急医療と救急外来トリアージ. 第1回茨城緊急度判定研修会, 2012, 1, 8, 茨城.
- 2) 奥寺 敬, 坂元美重 : 21世紀の災害像と災害医療研修. 鹿児島災害医療研修会・指導者部会, 2012, 1, 14, 鹿児島.
- 3) 奥寺 敬, 坂元美重 : 災害医療のシミュレーション研修. 鹿児島災害医療研修会・基礎部会, 2012, 1, 14, 鹿児島.
- 4) 奥寺 敬 : 神経蘇生領域の研修法. 兵庫医科大学蘇生研修会, 2012, 1, 15, 兵庫.
- 5) 奥寺 敬 : 救急外来のトリアージについて. 日本赤十字社研修会, 2012, 2, 11, 東京.
- 6) 奥寺 敬 : ISLS研修の目的. ISLS-FUJITA研修会, 2012, 2, 19, 愛知.
- 7) 有嶋拓郎 : 「便利さの追求と安全の追求」の到達点. 脳神経センター大田記念病院オープンカンファレンス, 2012, 2, 20, 福山.
- 8) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重 : 災害医療研修と東日本大震災. 大分県災害医療研修会・指導者部会, 2012, 3, 3, 大分.
- 9) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 坂元美重 : 災害医療のシミュレーション研修. 大分県災害医療研修会・基礎部会, 2012, 3, 3, 大分.
- 10) 奥寺 敬, 若杉雅浩 : ISLS研修と地域医療. 高知県地域医療研修会, 2012, 3, 17, 高知.
- 11) 奥寺 敬, 木澤晃代 : 救急外来のトリアージとCTAS/JTAS. 高知医療センター研修会, 2012, 3, 18, 高知.
- 12) 奥寺 敬 : 東日本大震災による複合災害と災害医療研修. 日本災害医療教育研修会・上級者部会, 2012, 3, 23, 富山.
- 13) 奥寺 敬 : 災害医療研修の指導法. 北海道災害医療研修会・指導者部会, 2012, 4, 7, 札幌.
- 14) 奥寺 敬, 太田晴美 : 災害医療のシミュレーション研修. 北海道災害医療研修会・基礎部会, 2012, 4, 7, 札幌.
- 15) 奥寺 敬 : 救急外来のトリアージについて. 第1回北海道緊急度判定研修会, 2012, 4, 8, 札幌.
- 16) 奥寺 敬 : 救急外来とCTAS/JTAS. 第1回愛知県緊急度判定研修会, 2012, 4, 14, 愛知.
- 17) 奥寺 敬 : 救急外来とCTAS/JTAS. 第2回愛知県緊急度判定研修会, 2012, 4, 15, 愛知.
- 18) 奥寺 敬 : 院内トリアージと救急医療. 第1回群馬県緊急度判定研修会, 2012, 4, 21, 群馬.
- 19) 奥寺 敬, 木澤晃代 : JTASによる院内トリアージ. 第2回茨城県緊急度判定研修会, 2012, 4, 22, 茨城.
- 20) 奥寺 敬 : 緊急度判定とJTAS. 第1回千葉県緊急度判定研修会, 2012, 4, 28, 千葉.
- 21) 奥寺 敬 : 救急外来の緊急度判定. 第1回東京都緊急度判定研修会, 2012, 4, 19, 東京.
- 22) 奥寺 敬 : 救急医療における緊急度判定とは. 第1回兵庫県緊急度判定研修会, 2012, 5, 4, 兵庫.
- 23) 奥寺 敬 : 救急医療における緊急度判定とは. 第2回兵庫県緊急度判定研修会, 2012, 5, 5, 兵庫.
- 24) 奥寺 敬 : 救急外来緊急度判定 JTAS. 第1回岡山県緊急度判定研修会, 2012, 5, 6, 倉敷.
- 25) 奥寺 敬 : 病院における緊急度判定. 第1回福岡県緊急度判定研修会, 2012, 5, 7, 北九州.
- 26) 奥寺 敬 : 緊急度判定支援システム JTASについて. 第1回長野県緊急度判定研修会, 2012, 5, 20, 伊那.
- 27) 奥寺 敬 : 地域医療と緊急度判定支援システム. 第2回北海道緊急度判定研修会, 2012, 5, 27, 北見.

- 28) 有嶋拓郎 : 運動や作業中の熱中症対策. 平成 24 年度日医認定健康スポーツ医再研修会・産業医研修会, 2012, 6, 12, 福井.
- 29) 奥寺 敬 : 日本臨床救急医学会 JTAS 研修の意義. 日本臨床救急医学会 JTAS 研修会, 2012, 6, 15, 熊本.
- 30) 有嶋拓郎 : 生活にある危険と安全. 病気のシグナル講演会, 2012, 6, 16, 岐阜.
- 31) 奥寺 敬 : 救急看護認定看護師とトリアージ. 平成 24 年度日本看護協会救急看護認定看護師研修, 2012, 7, 26, 東京.
- 32) 奥寺 敬 : 地域医療と院内トリアージ. 第 1 回新潟県緊急度判定研修会, 2012, 7, 28, 新潟.
- 33) 奥寺 敬 : 歯科領域における心肺蘇生の最新知識. 平成 24 年度歯科救急研修会, 2012, 7, 29, 福井.
- 34) 有嶋拓郎 : 災害に対しての病院としての備えと地域密着型病院災害訓練. 射水市民病院講演会, 2012, 8, 3, 射水.
- 35) 奥寺 敬 : JTAS と院内トリアージ. 平成 24 年度石川県救急医療研修会, 2012, 8, 9, 石川.
- 36) 奥寺 敬, 山本由加里 : 災害医療とシミュレーション研修. 福井災害医療研修会, 2012, 8, 11, 福井.
- 37) 奥寺 敬 : JRC ガイドライン 2010 による心肺蘇生法研修. 平成 24 年度富山救急医療学会, 2012, 8, 25, 富山.
- 38) 奥寺 敬 : 緊急度判定と院内トリアージ. 第 1 回富山県緊急度判定研修会, 2012, 8, 25, 富山.
- 39) 奥寺 敬, 橋本真由美 : 緊急度判定と院内トリアージ. 第 2 回富山県緊急度判定研修会, 2012, 8, 25, 富山.
- 40) 有嶋拓郎 : 敗血症に対する急性血液浄化法. 第 7 回東海 CHDF 技術検討会, 2012, 8, 25, 名古屋.
- 41) 有嶋拓郎 : 運動や作業中の熱中症対策. 富山県医師会産業保健研修会, 2012, 8, 26, 富山.
- 42) 有嶋拓郎 : 災害に対しての病院としての備えと地域密着型病院災害訓練. 鹿児島生協病院講演会, 2012, 9, 7, 鹿児島.
- 43) 奥寺 敬 : 東日本大震災による複合災害と災害医療研修. 日本災害医療教育研修会・上級者部会, 2012, 9, 15, 富山.
- 44) 奥寺 敬 : 緊急度判定支援システムと院内トリアージ. 東京都緊急度判定研修会, 2012, 9, 23, 東京.
- 45) 奥寺 敬, 山本由加里 : 神経蘇生と ISLS. 佐渡神経蘇生研修会, 2012, 9, 30, 佐渡.
- 46) 奥寺 敬 : JRC ガイドライン 2010 における神経蘇生. 秋田神経蘇生研修会, 2012, 10, 28, 秋田.
- 47) 有嶋拓郎 : 地域密着型病院災害訓練-Disaster ABC-の紹介. 平成 24 年第 2 回新潟県災害医療コーディネーター・災害時医療従事者合同研修会, 2012, 10, 28, 新潟.
- 48) 有嶋拓郎 : 「便利さの追求と安全の追求」の到達点. 第 1 回飛騨市民病院医療安全研修会, 2012, 10, 31, 岐阜.
- 49) 奥寺 敬 : JRC ガイドライン 2010 による心肺蘇生法研修. 富山救急蘇生研修会, 2012, 11, 3, 富山.
- 50) 奥寺 敬, 坂元美重 : JRC 心肺蘇生ガイドラインの最新知識. 平成 24 年度富山県医師会救急医療研修会, 2012, 11, 4, 富山.
- 51) 奥寺 敬 : 神経蘇生の最新の考え方と ISLS. 愛媛県神経蘇生研修会, 2012, 11, 18, 愛媛.
- 52) 奥寺 敬, 山本由加里 : 災害医療研修の指導法. 新潟県災害医療研修会・指導者部会, 2012, 11, 24, 札幌.
- 53) 奥寺 敬 : 緊急度判定支援システムと院内トリアージ. 群馬県緊急度判定研修会, 2012, 11, 25, 群馬.
- 54) 有嶋拓郎 : バイタルサイン. 飛騨市民病院救急勉強会, 2012, 11, 28, 岐阜.
- 55) 奥寺 敬, 橋本真由美 : 神経蘇生研修としての ISLS. 横浜神経蘇生研修会, 2012, 12, 2, 横浜.
- 56) 奥寺 敬 : JRC ガイドライン 2010 の心肺蘇生研修指導法. 富山救急蘇生研修会・指導者部会, 2012, 12, 8, 富山.
- 57) 奥寺 敬 : ガイドライン 2010 による心肺蘇生法. 富山救急蘇生研修会, 2012, 12, 8, 富山.
- 58) 奥寺 敬 : 東日本大震災による複合災害と災害医療研修. 日本災害医療教育研修会・上級者部会, 2012, 12, 9, 富山.
- 59) 奥寺 敬 : 救急医療と緊急度判定. 第 1 回大阪府緊急度判定研修会, 2012, 12, 15, 大阪.
- 60) 奥寺 敬 : 緊急度判定と院内トリアージ. 第 1 回島根県緊急度判定研修会, 2012, 12, 22, 出雲.
- 61) 安心院康彦, 奥寺 敬 : PNLS コース入門 PNLS ってなに? Brain Nursing, 28: 194-201, 2012.
- 62) 高橋 恵, 奥寺 敬, 伊藤勝博, 大熊洋揮 : PNLS コース入門 PNLS コースの実際 第 7 回 PNLS コースより. Brain Nursing, 28: 202-209, 2012.
- 63) 伊佐勝憲, 阿部幸恵, 饒波正博, 座波智光, 中村丈洋, 安心院康彦, 奥寺 敬, 大屋祐輔 : おきなわ Immediate Stroke Life Support (ISLS) コース 開催経験の検証と今後の課題. 沖縄医学会雑誌, 50: 42-45, 2012.